

原料費調整制度に基づく2024年12月検針分のガス料金について
(群馬地区)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社(社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」)は、「原料費調整制度」に基づき、2024年12月検針分の単位料金を調整した結果、2024年11月検針分と比べ、1m³(45MJ)につき9.14円(消費税込)上方に調整いたします。

これにより、1ヵ月に36m³のガスをお使いになる標準家庭で2024年11月検針分と比較して、329円(消費税込)ガス料金が上がります。

2024年12月検針分に適用するガス料金については、東京ガスのホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

1ヵ月のご使用量	(消費税込)		
	料金表A 0～24m ³	料金表B 25～500m ³	料金表C 501m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,296.10	7,612.30
調整単位料金 (円/m ³)	177.34	155.79	143.17
(参考) 11月 調整単位料金	168.20	146.65	134.03

2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³) 適用料金(円/月)	(消費税込)		
	2024年 11月 ^{*1}	2024年 12月	増減
	6,575	6,904	329

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度～2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。なお、口座振替割引は2025年3月検針分より廃止いたします。

*1 経済産業省の「酷暑乗り切り緊急支援」実施に伴い、10円/m³値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)			
	2024年6月～2024年8月 の平均 (11月 検針分)	2024年7月～2024年9月 の平均 (12月 検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	90,970	90,000	▲ 970
LNG	94,610	93,630	▲ 980
LPG	95,700	93,870	▲ 1,830
基準平均原料価格(b)	54,870		
差額(a-b)	36,100	35,100	▲ 1,000

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 93,630 \times 0.9206 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 93,870 \times 0.0405 \\ &= 89,997.51 \\ &\downarrow (10\text{円未満四捨五入}) \\ &= 90,000 \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} 90,000 \text{ 円/t} - 54,870 \text{ 円/t} &= 35,130 \text{ 円/t} \\ &\downarrow (100\text{円未満切捨て}) \\ &= 35,100 \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= 35,100 \text{ 円} / 100\text{円} \times 0.0858^{*2} \\ &= 30.11 \text{ 円}^{*3} \end{aligned}$$

*2 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*3 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

5. 標準家庭料金の算定方法

群馬地区

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金}(1,296.10\text{円}) \\ &+ \text{調整単位料金}(125.68\text{円} + 30.11\text{円}) \times 36\text{m}^3 \\ &= \text{基準単位料金(税込)} \uparrow \quad \uparrow \text{単位料金調整額(税込)} \\ &= 6,904 \text{ 円} \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（54,870円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が149,570円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は149,570円としてガス料金の調整を行います。